

令和4年度 学校評価のお知らせ



手作り製品 いかが
楯岡特別支援学校の販売会 東根

県立楯岡特別支援学校「スなどの多彩な製品を並べ（村山市、香沢製校長）高た。初日は3年生17人が接客を担当し「いらっしやいや手芸品などの販売会が「ませ」など呼びかけながら手作り製品を来店客にアピールした。売り場に立ち、会計作業を担当した太田峻成さん（18）は「多くの人が来てくれて大変だった。生徒は接客マナーを学び、地域住民と交流する

場として、同校が校外販売会を毎年開催している。18日は1年生、19日は2年生が、いずれも午前10時20分～11時15分に製品を販売する。
 （小林達也）

【山形新聞から】

高等部作業製品販売会
 1月17日・18日・19日

山形県立楯岡特別支援学校

令和4年度学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校

1 令和4年度学校評価アンケートの実施について

(1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉の実施

保護者アンケートは、記入していただいたアンケート用紙に封をしてご提出いただき、学校評価委員（3名）が直接開封して集計を行った。

(2) アンケート項目については、経年における変動が読み取れるように、これまでと同様の内容（※一部表現を変更）を継続して実施した。

(3) アンケート結果をもとに、校長を含めた学校評価委員会で、令和5年度に向けての考察と改善策を提案し学校運営に生かせるようにした。

(4) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉と同様の項目を学校自己評価〈教職員アンケート〉に設け（項目1～10が同じ）比較できるようになっている。

(5) 結果は保護者にお知らせするとともに、学校評議員会でも報告し、助言を受けるようにした。

2 アンケート結果

(1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない) 【別紙集計結果参照】

① アンケートに際しては、保護者への依頼文書に加え、締切前に担任が呼びかけるなどを行い、110家庭中106家庭（96.3%）の回答率であった。

② 全体の平均値は昨年度の3.53に対し、今年度は3.52でありわずかだが下がっている。

③ 10項目中、**3・5・6・7・8**の5項目で昨年度より評価の向上が見られた。

番号	設問内容	評価	4段階+3段階：%
3	学校や学級担任は、お子様の学校での様子をよく伝えてくれる。	3.74	97%
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。	3.71	99%
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。	3.64	98%
5	お子様にとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるように工夫されている。	3.50	94%
6	学校は、お子様や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	3.46	91%

④ 昨年度の評価を下回ったのは**1・2・4・9・10**であった。

番号	設問内容	評価	4段階+3段階：%
2	学校や学級担任はお子様の教育について、よく話を聞いてくれる。	3.64	97%
1	お子様は、学校に行くことを楽しく思っている。	3.56	95%
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。	3.40	89%

9	お子様にとって意義のある交流学習、学校行事、校外学習等の企画・運営がなされている。	3.39	89%
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。	3.19	86%

4段階+3段階の%がほぼ90%の数値であり良好な評価と捉えることができるが、数値が下がり90%未満となっている4・9・10が今後の課題である。

(2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)【別紙集計結果参照】

- ① 全体の平均値は昨年度の3.25に対し、今年度は3.29でありわずかだが上がっている。
- ② 全ての項目が3.0ポイント以上となり、特に以下の3項目が高い数値となり教職員が力を入れている点と言える。

番号	設 問 内 容 (個:個人、全:全体)	評価
12	授業研究会における助言や教育相談、学校参観等により、地域のセンター的機能を果たしている。(全)	3.47
2	児童生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、児童生徒の学習や生活上の課題を共有している。(全)	3.45
1	児童生徒が来なくなる、楽しい学校づくりをしている。※生徒指導・いじめ防止・ケース会も含む。(全)	3.42

3 考察

- (1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉と学校自己評価〈教職員アンケート〉の共通項目について比較すると、項目4、9、10と5、6、7について両方で異なる結果となっている。項目4、9、10は、保護者の評価が下がっている。コロナ禍での制限が続いており、子ども達の学習や参観の機会が減っていることへの心配の表れと捉えることができる。学校側も、制限による機会減少を課題と捉え、補うための試みとして、①参観日等に作品等を掲示し見ていただけるようにする。②ホームページに行事や日々の学習の様子を掲載・情報発信し、児童生徒の頑張りをお伝えできるようにする。の2点に学校全体で取り組んできたため、教職員の意識が反映していると思われる。項目5、6、7は、保護者の評価が向上しているのに対して教職員は下がっている。児童生徒一人一人に応じた学習や進路指導を目指しており、より良いものにしたいとの課題意識が数字として表れたものと言える。保護者の評価を励みとしつつ専門性向上を目指したい。

- (2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉の項目15は、前年度の評価において課題とされた項目であったが今年度は向上している。学校文集の取りやめ等、働き方改革の取組への評価が表れてきていると思われる。

4 改善策

(1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉

4について：国や県の方針と感染状況に基づき、適切な安全管理を行いながら参観の機会を確保していく。併せてコロナ禍において制限（回数や人数等）により減った機会を補うため、参観日等に作品や成果物等の掲示を工夫したり、ホームページに学習の様子を掲載したりすることを継続し、児童生徒の頑張りをお伝えできるようにする。

9について：児童生徒のより良い学びには、友達と直接関わったり社会に出て体験したりする実際的な活動が大切である。4同様に安心安全を確保しつつ、新しい生活様式に応じた交流及び共同学習や校外学習等を推進する。

10について：コロナ禍3年目を迎え、新しい生活様式のもと少しずつ対外的な取り組みも実施されてきている。パラスポーツ交流会や昨年に続いて実施できたイオン販売会がテレビや新聞で紹介された。イオン販売会については、大勢のお客様にきていただき、本校のことを知っていただく良い機会となった。今後も活躍できる機会の確保に努め、児童生徒が頑張る姿をとおして情報発信を行っていく。

(2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉

15について：前年度よりも改善されてきているものの、働き方改革の取組は引き続き推進する必要がある。年2回の経営改善会議の中で示された改善策を取り入れ、各学部、分掌部の業務を見直すと共に、今年度の反省点を次年度の学校教育計画に生かしていく。

5 まとめ 『めざす学校像』実現に向けて

(1) 「児童生徒にとって 来るのが楽しみな学校」にするために

児童生徒の笑顔で登校する姿や元気にあいさつしてくれる姿を目指している。そのためには児童生徒一人一人にとって楽しみになる学習を用意できることが大切となる。保護者の協力を得ながら、個別の教育支援計画・個別の指導計画の充実を図ると共に、新しい生活様式に応じた行事や校外学習等の学びの場を確保していく。【項目1、5、9】

(2) 「保護者にとって 安心して任せられる学校」にするために

保護者との対話と児童生徒の様子を見ていただくことをとおして、学校の風通し・見える化を推進していく。国や県の方針と感染状況に基づき、自校の「感染症対応による学校運営ガイドライン」を更新し適切な安全管理を行いながら参観の機会を確保していく。併せてホームページを活用し情報発信を行っていく。【項目2、3、4、6、7、8】

(3) 「地域にとって 信頼して相談できる学校」にするために

特別支援教育における地域のセンター的機能として、地域の学校等からの相談や要望に応えられるように努めている。各要望に対応する際には、事前に研修部主催の検討会を行うようにしており、チーム楯特として対応する体制・意識づくりを今後も大切にしていく。学校や障がいのある児童生徒の理解推進を目指す情報発信も重要な役割となる。ホームページの活用や放課後支援施設への校長室便りの配付等、学校からの情報提供の充実を図り、学校が身近な存在となるよう努めていく。【項目10、(教)12、(教)14】

(4)「教職員にとって 働きやすく働きがいのある学校」にするために

児童生徒の成長や進路の実現等が、教職員の働きがいの大切な要素となる。働き方改革を推進し、児童生徒と向き合える時間の確保を推進していく。行事や校務分掌についてP D C A サイクルを実践しながら検討修正を行っていく。【項目(教) 15】

令和4年度 学校関係者評価(保護者アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校

番号	設 問	%				R4年度 平均	R3年度 平均
		4段階	3段階	2段階	1段階		
1	お子様は、学校に行くことを楽しく思っている。	62%	33%	3%	2%	3.56	3.57
2	学校や学級担任はお子様の教育について、よく話を聞いてくれる。	68%	29%	2%	1%	3.64	3.66
3	学校や学級担任は、お子様の学校での様子をよく伝えてくれる。	78%	19%	1%	2%	3.74	3.71
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。	51%	38%	11%	0%	3.40	3.46
5	お子様にとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるように工夫されている。	57%	37%	4%	2%	3.50	3.49
6	学校は、お子様や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	56%	35%	7%	2%	3.46	3.44
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。	72%	27%	1%	0%	3.71	3.66
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。	67%	31%	1%	1%	3.64	3.58
9	お子様にとって意義のある交流学习、学校行事、校外学習等の企画・運営がなされている。	51%	38%	9%	2%	3.39	3.51
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。	37%	49%	10%	4%	3.19	3.25
						3.52	3.53

※1 アンケートの実施期間は、令和4年11月18日(金)から11月24日(木)まででした。

※2 10の質問項目に対し、4段階で評価していただきました。

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)

※3 アンケートの回収件数は、106件(110家庭中)でした。

令和4年度 学校自己評価(教職員アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校

番号	内容		%										4%	3%	2%	1%	R4 (平均)	R3 (平均)
			0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%					
1	児童生徒が来なくなる、楽しい学校づくりをしている。※生徒指導・いじめ防止・ケース会も含む。	個人											41.8	58.2	0.0	0.0	3.42	3.48
		全体											36.4	61.8	1.8	0.0	3.35	3.41
2	児童生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、児童生徒の学習や生活上の課題を共有している。	個人											45.5	54.5	0.0	0.0	3.45	3.39
		全体											40.0	58.2	1.8	0.0	3.38	3.43
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿についてよく伝えている。	個人											40.0	60.0	0.0	0.0	3.40	3.30
		全体											34.5	65.5	0.0	0.0	3.35	3.28
4	学習の足跡の掲示や参観の機会等が確保され、児童生徒の学習の様子が見えるようにしている。	個人											38.2	60.0	1.8	0.0	3.36	3.17
		全体											45.5	49.1	5.5	0.0	3.40	3.24
5	個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・評価により、個に応じた「分かる」授業を実践している。	個人											20.0	74.5	5.5	0.0	3.15	3.19
		全体											21.8	74.5	3.6	0.0	3.18	3.24
6	児童生徒や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	個人											34.5	60.0	5.5	0.0	3.29	3.30
		全体											36.4	61.8	1.8	0.0	3.35	3.37
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境にしている。	個人											36.4	61.8	1.8	0.0	3.35	3.39
		全体											38.2	52.7	9.1	0.0	3.29	3.35
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。	個人											40.0	60.0	0.0	0.0	3.40	3.26
		全体											38.2	60.0	0.0	1.8	3.35	3.31
9	交流及び共同学習、校外学習、学校行事等が、児童生徒にとって意義のある企画・運営になっている。	個人											30.9	69.1	0.0	0.0	3.31	3.28
		全体											30.9	61.8	7.3	0.0	3.24	3.22
10	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。	個人											18.2	78.2	3.6	0.0	3.15	3.04
		全体											18.2	78.2	3.6	0.0	3.15	3.11
11	校内研究による授業改善や自主研修、OJTに課題意識をもって取り組み、専門性向上を図っている。	個人											29.1	67.3	3.6	0.0	3.25	3.28
		全体											32.7	65.5	1.8	0.0	3.31	3.37
12	授業研究会における助言や教育相談、学校参観等により、地域のセンター的機能を果たしている。	個人											16.4	80.0	3.6	0.0	3.13	3.13
		全体											47.3	52.7	0.0	0.0	3.47	3.46
13	小(上・下学年)・中・高の協力や情報共有のもと、児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができています。	個人											16.4	81.8	1.8	0.0	3.15	3.00
		全体											20.0	74.5	5.5	0.0	3.15	3.02
14	職員のチームワークのもと、連携し支え合い、協働性を発揮して学校運営がなされている。	個人											38.2	60.0	1.8	0.0	3.36	3.37
		全体											34.5	60.0	3.6	1.8	3.27	3.28
15	行事の精選や会議の運営等、多忙感や負担感の解消に向けた取り組み等の働き方改革を推進している。	個人											20.0	72.7	7.3	0.0	3.13	3.02
		全体											21.8	65.5	12.7	0.0	3.09	2.98
																平均	3.29	3.25

■ 4:よく当てはまる ■ 3:やや当てはまる ■ 2:あまり当てはまらない ■ 1:当てはまらない